

活動報告

団体名	熊本学園大学ボランティアセンター
活動名	学生による被災住民向け生活再建支援ボランティア活動
活動期間	2018年11月～2019年3月
活動の成果	<p>活動することで被災地域の一人暮らしの高齢者、夫婦のみの世帯の高齢者とコミュニケーションを交わし、被災時の様子や現在の生活状況を吐き出していただいた。</p> <p>初めて活動に参加した学生も、被災状況や被災者の生の声を聞くことができ、感動し今後の活動につなげていきたいとの思いを強くした。当日の活動の様子が中国新聞に掲載された。</p> <p>試行錯誤した手作りのクッキーを提供し、飲み物をいただきながらのカフェ活動は、学生にも時間的ゆとりが生まれ、楽しい会話をすることができた。</p> <p>課題として住民の自治会の組織化、運動不足が考えられるが、私たちができる活動には制限があり、課題として今後考えていきたい。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>ご寄付ありがとうございました</p> <p>寄付金は西日本豪雨により被災された広島への交通費、宿泊費に充当させていただきました。今回の活動では郷土料理の提供やカフェ活動を集会所で実施することができました。地域住民のコミュニティーの形成に少しでも役立つことができると考えます。</p> <p>後期の授業が終了した直後に活動を2回実施でき、経費を気にすることなく活動ができたことは大変有意義な活動となりました。内容的にも質的にも充実した活動を学生が自ら考えることができたのも、寄付金があったとのことだと感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>

(活動のようす)



